

2008年12月2日

各 位

マルホ株式会社

経口用ペネム系抗生物質製剤「ファロム」の製造販売承認の承継について

マルホ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：高木 幸一）は、アスピオファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：横山 誠一）が有する、経口用ペネム系抗生物質製剤「ファロム錠150mg」「ファロム錠200mg」「ファロムドライシロップ小児用10%」の製造販売承認を、2008年12月1日付で承継いたしました。

「ファロム」は、サントリー株式会社医薬事業部（現、アスピオファーマ株式会社）が創製し、サントリー株式会社と山之内製薬株式会社（現、アステラス製薬株式会社）とで共同開発を行い、1997年に世界初のペネム系抗生物質として日本において発売されました。

「ファロム」は各種細菌に対して抗菌作用を発揮します。その抗菌作用は強力かつ殺菌的であり、また、近年問題となっているペニシリン耐性肺炎球菌や皮膚科領域感染症で検出頻度の高い、黄色ブドウ球菌やアクネ菌に対しても良好な抗菌力を有しています。そのため、2005年に山之内製薬から販売が移管された後、マルホにて、特に皮膚科領域感染症、小児科領域感染症、内科領域感染症、耳鼻科領域感染症を中心に情報提供活動を積極的に進めて参りましたが、さらに弊社としてより一層、本剤の有効性・安全性に関するエビデンスを集積し、上記感染症治療の一翼を担うため、製造販売承認を承継させていただきことと致しました。

マルホは、人類の健康に対して質の高い貢献を行うことを企業使命に掲げ、長期ビジョン「皮膚科学関連医薬品のブティック・カンパニー」として、皮膚科領域製品の拡充を図っております。

「ファロム」の承継により、さらに多くの患者さんのお役に立てる情報収集・提供活動を展開していく所存です。

以 上